

事業の概況（平成26年度3月期）

事業別業況

◆農業関連事業

【購買事業】

当期の生産購買品供給高は、平成27年産水稻肥料・農薬の計画的な配送・供給等に努めた結果、1,605百万円となりました。

【販売事業】

当期の販売品取扱高は、受託販売品において畜産物等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、2,265百万円となりました。

◆生活関連事業

当期の生活購買品供給高は、店舗事業におけるラピタ・Aコープとも月次計画の達成、また燃料事業における新年度のセール企画策定等の結果、2,053百万円となりました。

◆信用事業

期末残高は、JAしまね誕生記念キャンペーンを実施し、貯金が912,891百万円となりました。また、貸出金の期末残高は294,076百万円となりました。

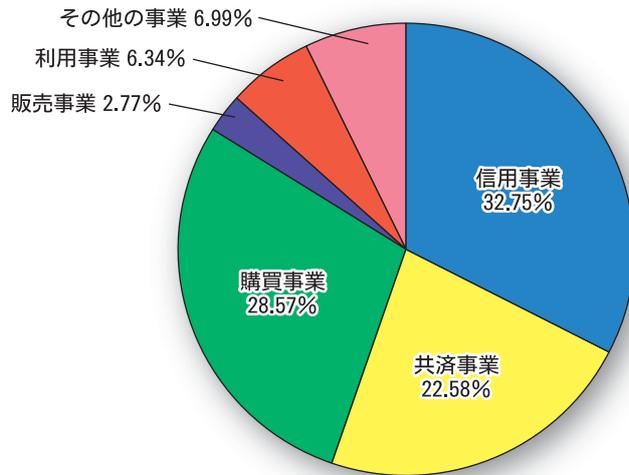
◆共済事業

期末残高は、支店担当者等の事務の迅速・適正化等による利用者対応力の向上に努めた結果、長期共済保有高が3,928,596百万円、年金共済保有高が20,118百万円となりました。

損益の状況

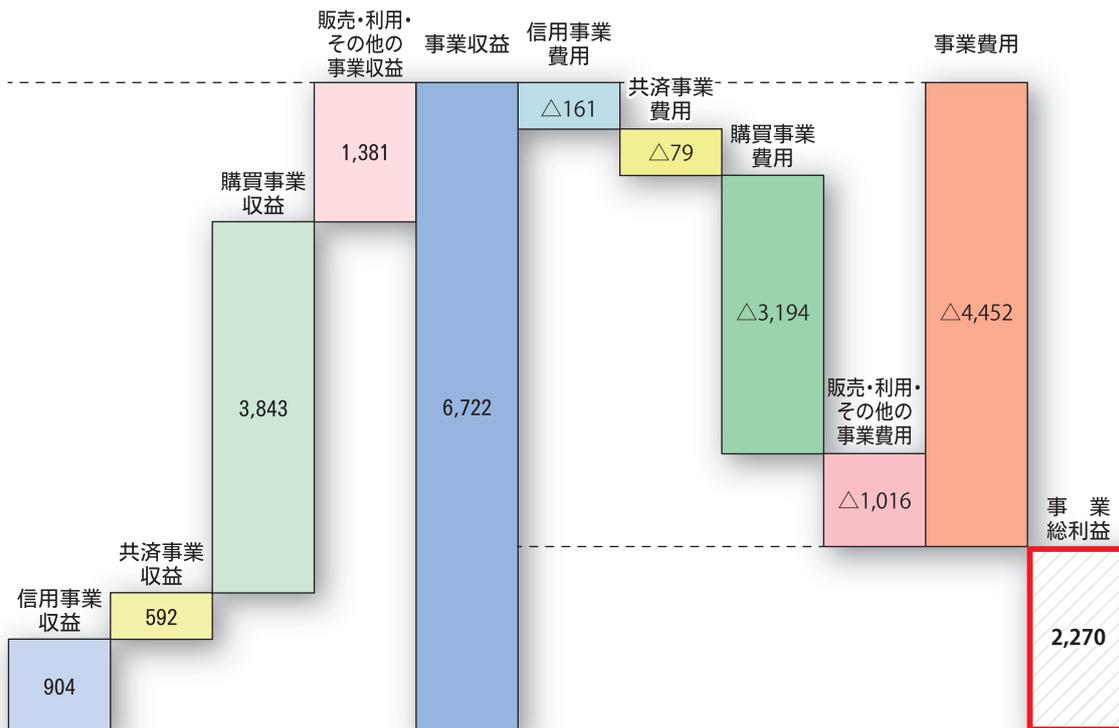
統合初年度1か月の収支は、事業総利益が2,270百万円、経常利益は116百万円となり、当期剰余金は206百万円となりました。

事業総利益に占める各事業の割合



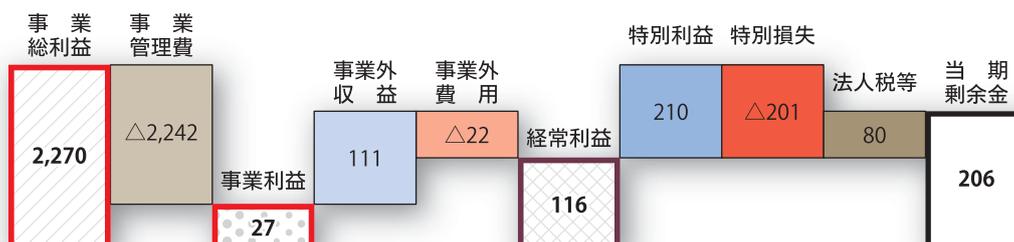
事業総利益の増減要因

(単位：百万円)



当期剰余金の増減要因

(単位：百万円)



事業活動のトピックス（平成26年度3月期）

JAしまねの誕生

当JAは、平成18年の第29回JA大会より、足掛け10年におよぶ協議を経て、県内11のJAと県域連合組織の一部が統合し、新生「JAしまね」として発足いたしました。

平成27年3月1日には、島根県松江市の島根JAビルにて統合記念式典が催されました。



経営理念

経営方針

経営管理体制

事業の概況

事業活動のトピックス

農業振興活動

地域貢献情報

リスク管理状況

自己資本の状況

主な事業の内容

農業振興活動

農業戦略「耕そう!! しまねの大地」の実現

JAしまねの設立にあたり策定した農業戦略の実現に向けて、具体的行動計画を定め、平成27年度事業計画の策定を行いました。

JA農業振興支援制度の利用拡大や、地区本部を超えた施設利用や共同販売等の協議を行い、振興品目の普及拡大手法の協議を行いました。

畜産総合センター事業への取り組み

JAしまね農業戦略のモデル事業として、子牛育成施設（キャトルステーション）、繁殖雌牛預かり施設（繁殖センター）、肉牛肥育施設（肥育センター）を総合的に運営し、畜産農家・酪農家の労力軽減・増頭支援を進める畜産総合センター事業の取り組みに着手しました。



地域貢献情報

地域からの資金調達の状況

(貯金・積金残高・平成27年3月末現在)

(単位：千円)

種 類	残 高
流 動 性 貯 金	364,107,528
定 期 性 貯 金	521,698,955
定 期 積 金	25,927,196
そ の 他 の 貯 金	1,057,847
譲 渡 性 貯 金	100,000
合 計	912,891,526

地域への資金供給の状況

(貸出金残高・平成27年3月末現在)

(単位：千円)

区 分	残 高
組 合 員	190,415,702
地 方 公 共 団 体	73,293,855
そ の 他	30,366,511
合 計	294,076,069

地域密着型金融への取組み

- ・ 休日ローン相談会の開催
- ・ 年金相談会の開催
- ・ 担い手金融リーダーによる農業融資相談体制の強化
- ・ J A アグリサポート利子助成事業、金融円滑化等への対応



<地域社会に貢献する活動>

- ①交通安全意識の高揚と健全な心身の育成に寄与するため、夜光反射テープと反射タスキを新中学生に贈りました。
- ②J A まつりの出展収益金を活用し、保育園へ「図書カード」等を寄贈しました。
- ③車椅子やワクチンを贈る団体の運動趣旨に賛同しエコキャップ・プルタブの回収を行っています。また、地域の社会福祉協議会に直接、車椅子を贈りました。
- ④環境保全を目的に、J A 女性部では「J A 女性エコライフ宣言」として消費電力削減、マイはし、マイバック持参運動に取り組んでいます。

<くらしの活動関係>

- ①「食農教育」の一環として親子クッキングスクール、あぐりキッズスクール等さまざまな活動を行なっています。年間を通じてカリキュラムを立てて体験を通して食や農の大切さを伝えています。またJ A 女性部などが出前授業として、学校等に出かけて食と農の大切さを伝える取り組みを行っています。
- ②いつまでも輝く女性であるための自分磨きや、学びの場を通じたの仲間づくりを目的として、40歳前後の女性の方を対象にJ A 女子大学を開講しています。講座は、毎月1回を目安に1年コースまたは2年コースでカリキュラム組んでおり、文化教養や農業体験、ウォーキング、料理等幅広い内容となっています。
- ③「米消費拡大」をめざし、農協青年連盟が小学生の受賞ポスターの大看板の制作や、J A 役職員が「おにぎり大作戦」等を展開し取り組んでいます。
- ④健康相談を開催し、組合員の健康管理に努めました。
- ⑤ホームヘルパー修了者等が会員となっている助けあい組織では、ミニデイサービス・茶会・おやつサービス等のボランティア活動に取り組んでおり、その取り組みを支援しています。